

「ターク県メト総合病院医療従事者育成の研修機能強化計画」

The Project for the Enhancement of Training Capacity of Medical Staff at Mae Sot General Hospital, Tak Province



病院の混み合う待合室の様子



国境付近の医療機関から送られた避難民

実施団体	メト総合病院 (Mae Sot General Hospital)
プロジェクトサイト	ターク県メト郡
供与金額	3,259,200 バーツ
背景	<ul style="list-style-type: none">メト総合病院では地域住民への医療提供に加え、ミャンマー人に対しても基本的な医療を提供している。同病院では、近年の情勢悪化による避難民の急増による国境保健ニーズの増大を受け、2024年に「国境地域保健研修センター」を設置し、感染症への対応力強化及び医療従事者の育成(NGO等から年間約250人の医療関係者を受け入れ研修を実施)を行っている。こうした中、2025年の米政府のミャンマー避難民キャンプへの支援停止決定を受け、タイ保健省を中心にミャンマー避難民への医療提供体制の見直しが行われ、ミャンマー人の医療従事者の育成や、オンライン研修の導入を含む、同センターの機能強化が進められている。本計画では、かかる同センターの機能強化を支援するため、オンライン研修等に必要な音響機器、電気・電子機器等の供与を実施する。
支援内容	研修室改修及び研修用機材(18品)
期待される効果	本計画が支援する同センターの機能強化により、年間約750人の医療従事者(ミャンマー人医療従事者含む)により充実した研修環境が提供され、ミャンマー避難民への対応を含む国境保健が向上し、公立病院へのアクセスが困難な約27万人のミャンマー避難民に裨益する。